

生きる力

第 60 号

令和元年 11月 10日
文責発行：中西秀幸
〒745-0302
周南市鹿野上 3217 番地
TEL 0834(68)2106
FAX 0834(68)2103

店の前のフジバカマに今年もアサギマダラが飛んできました。20日頃、その蝶が一番多かったと思います。いっておかえり鹿野市の両日に来られた方々も、10月初旬にその姿をみつけた私と同じ感動をされたと思います。シスターのご主人、ありがとうございます！



行動エネルギーとなる夢を

「夢」と聞いてあなたはどんなイメージを持たれますか？ここでいう「夢」は寝た時にみる「夢」ではありません。将来どのように発展をしたいか、成長していきたいか等の構想や未来像のことです。ですから本来「夢」とは、その実現を思うとワクワクときめき、行動エネルギーになるものだと思います。

10月21日、第18回鹿野地域夢プラン策定委員会に出席させて頂きました。その場でほぼ完成した夢プランをまとめたカラーコピーを拝見しました。9月の委員会は怪我の直後で欠席、このコピーをみるのは始めてでした。鹿野の風景イラストの中心に円が描かれています。その円のまわりにはいきいき自然・未来へのプロジェクト・ここにこ助け合い・きらきら鹿野人の四つの活動の柱があります。

す。さらに、その円の中心には「わくわく交流」があります。加えてこれも食堂などのそれぞれの活動の柱の行動計画も書かれています。

この夢プランは、活動の柱、スローガンの順番で作られました。スローガンは「ぶちええね！まるごとかのづくり」です。そして、示されたプランは、策定委員会みんなの総意で作ったものです。そこで委員会の冒頭、これらの活動の柱、具体的な行動計画全てが実現したらどうなるか、一言で表現できないかとテーブル内の方々に尋ねてみました。何を考えるかを共有するのは大切だという意見がありました。が、納得できる答えを、その場では得られませんでした。今でも私はどんな地域にするのか、鹿野の未来像を決めてからプランはつくるべきだと思っています。というのは未来

相手のためにお互いのためにある

10月20日、第25回かのふるさとまつり、同時開催の鹿野文化祭に行きました。会場がコアになってから始めて参りました。孫がお抹茶席でお運びをするから観に来てねと誘ってくれたおかげで訪れることができました。コアに向かうと人出の多さにビックリ。小学校の臨時グラウンド駐車場に入るための車が道路に並んで待っていました。歩いて到着した時、芋掘りはすでに終了。掘り終えたその畑をみて盛況ぶりが感じられました。おそらく人出は他地域から来られた方が多かったのではないのでしょうか。その後、お目当てのお抹茶席に座りました。茶席で気さくにご案内下さる方の導き、相席して下さった素養のある方のおかげで、お菓子も作法通りに頂けない私もなんとか飲む事ができました。孫たちが漢陽寺の大奥様のご指導の下まじめにお運びしたのも良かったです。茶道の作法は相手様のため、お互いのためにあるものなのではと感じられました。

翌日、博愛病院で診察待ちの82歳の方と話す機会がありました。「祭に行かれましたか？」「足が悪いですのでよう行きません」地域内の高齢化を見据えた時、イベント事は自宅からの移動サービスが必要不可欠。それは茶道に通じるおもてなしだと思えました。



地域イベントご紹介

◎ルーラル315フェスタ

- ・場所 マルシェかの大潮田舎の店
- ・日程 11月9日(土)10日(日)
- ・時間 9時半～15時
- ・内容 地域産品販売など
- ・主催 ルーラル推進協議会
- ◎ふらつと食堂ミニ
- ・場所 旧大潮小学校
- ・日程 11月17日(日)
- ・時間 10時～14時
- ・内容 食事(カレー豚汁)・交流等
- ・主催 異世代交流子育てサロン
- ・送迎 コア10時発(申込必要)

周南掃除に学ぶ会

11月に再開する予定でしたが、骨折が中々治りません。そんな次第で今月も休会とさせて頂きます。申し訳ございません。誠に勝手ではございますが、再開の時は、よろしくご支援ご参加をお願い致します。(素手掃除への質問回答素手でトイレを掃除した方が私は綺麗にできます。勿論、素手は強靭り手は洗い消毒も致します。

子供を共に育てる

26日、鹿野幼保小中合同文化祭にも小学校二年生の孫が誘ってくれたので出かけられました。文化祭は、「子供を共に育ててゆこう」という願いから中学校主催が始まりました。体育館の舞台では、ダンス・歌・劇・学習発表等のプログラムがありました。全部みただけなのですが、孫たちの大きな声と動作への感動だけで我慢しました。展示では未来予想図鹿野中一年生が心に残りました。

共に育てるとは、難しいことを教えるお手伝いをするのではなく、関心をもってくれる人がいる。その事が行動力や意欲を高めるので、わが子が成長すると学校から足が遠のきます。これからは地域貢献と想って参観します。

